

第9回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会

日時：令和7年1月21日（火）

18時～19時30分

会場：長野県庁西庁舎 111号会議室

次第

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

- (1) 第8回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画（案）について
 - ・学びのイメージ（案）
 - ・設置課程等
- (3) 意見交換

4 その他

次回の予定

【日時】 令和7年4月下旬～5月中旬

【場所】 長野県庁西庁舎 111号会議室

【内容】 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画（案）について

5 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

(敬称略)

	区分	氏名	所属等	役職等
1	自治体	西澤 雅樹	長野市	副市長
2		丸山 陽一	長野市教育委員会	教育長
3	産業界	塚田 まゆり	長野商工会議所	副会頭
4	学識経験者	◎ 茅野 理恵	信州大学学術研究院教育学系心理支援教育グループ	准教授
5		小林 勝彦	長野県専修学校各種学校連合会	顧問
6	地域	坪井 俊文	長野地域振興局	局長
7		堀江 三定	長野市スポーツ協会	理事長
8		伊藤 羊子	一般財団法人長野県文化振興事業団 芸術文化推進室	室長
9		戸井田 由奈	特定非営利活動法人長野県NPOセンター	コーディネーター
10	同窓会 振興会	西澤 敏	長野東高等学校同窓会	会長
11		和田 安雄	長野吉田高等学校戸隠分校同窓会	会長
12		鷲澤 幸一	長野高等学校定時制振興会	会長
13		塚田 篤雄	長野商業高等学校定時制振興会	会長
14		岡 正子	長野西高等学校通信制振興会	会長
15	PTA	片野 良之	長野東高等学校PTA	会長
16		小林 優	長野市PTA連合会(小学校)	副会長
17		江口 康人	長野市PTA連合会(中学校)	副会長
18	小中学校等 関係者	小池 勲	長野市小学校長会(長水地区小学校長会)	会長
19		佐藤 裕美	長野市中学校長会(長水地区中学校長会)	会長
20		藤澤 里美	長野養護学校	校長
21		中島 秀明	県立高等学校長会定通部会(松本筑摩高等学校校長)	会長
22	再編対象校	林 皓太	長野東高等学校	生徒会長
23		宮尾 悟良		校長
24		柳澤 秀樹		教諭
25		徳武 誠也	長野吉田高等学校戸隠分校	生徒会長
26		田中 くるみ		生徒会副会長
27		内藤 信一		校長
28		丸山 淳一		教諭
29		阿部 翔之助	長野高等学校定時制	生徒会長
30		廣田 昌彦		校長
31		山本 俊介		教諭
32		田辺 葵	長野商業高等学校定時制	生徒会長
33		田中 百合菜		生徒会副会長
34		有賀 浩		校長
35		寺嶋 龍也		教諭
36		亀山 虎太郎	長野西高等学校通信制	生徒会長
37		小金 典子		校長
38		古澤 広人		教諭

【事務局】

学校名	氏名(役職等)
長野東高校	(教頭)峯村 勲 (教諭)柳澤 秀樹・安尾 光・栗原 聡・横打 史雄
長野吉田高等学校戸隠分校	(教頭)宮下 由夫 (教諭)丸山 淳一
長野高等学校 定時制	(教頭)小出 一也 (教諭)北島 匡晃・山本 俊介
長野商業高等学校 定時制	(教頭)島崎 剛 (教諭)寺嶋 龍也
長野西高等学校 通信制	(教頭)宮坂 洋子 (教諭)傳田 伊史・古澤 広人

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	原 多恵子	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	内山 みのり	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	高橋 正俊	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	原 周一郎	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	佐久 浩信	学びの改革支援課	指導主事

第8回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和6年11月26日(火) 18時～19時30分		
場所	長野県庁西庁舎 111号会議室		
出席 (敬称略)	西澤雅樹、丸山陽一、塚田まゆり、茅野理恵、小林勝彦、坪井俊文、伊藤羊子、戸井田由奈、西澤敏、和田安雄、片野良之、小林優、小池勲、佐藤裕美、藤澤里美、中島秀明、宮尾悟良、柳澤秀樹、内藤信一、丸山淳一、廣田昌彦、山本俊介、田辺葵、田中百合菜、有賀浩、寺嶋龍也、奥山敬斗、小金典子、古澤広人(以上29名)		
欠席 (敬称略)	堀江三定、鷺澤幸一、塚田篤雄、岡正子、江口康人、林皓太、徳武誠也、田中くるみ、阿部翔之助(以上9名)	傍聴	2名
事務局	長野東高校	峯村教頭(事務局長)、柳澤教諭、安尾教諭、栗原教諭、横打教諭	
	長野吉田高校戸隠分校	宮下教頭(副事務局長)、丸山教諭	
	長野高校定時制	小出教頭、山本教諭、北島教諭	
	長野商業高校定時制	島崎教頭、寺嶋教諭	
	長野西高校通信制	宮坂教頭、傳田教諭、古澤教諭	
	県教育委員会	小林企画幹、原(多)主幹指導主事、内山主任指導主事、原(周)主任指導主事、米澤主事	
当日資料	次第、構成員名簿、第7回懇話会まとめ、再編実施基本計画(案)検討資料、学びのイメージ(案) 補足資料		

会議事項

<ul style="list-style-type: none"> (1) 第7回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ (2) 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画(案)について <ul style="list-style-type: none"> ・学びのイメージ(案)について ・活用する校地・校舎について ・統合時の課題について (3) 意見交換
--

主な意見及び発言等(要旨) →県教委 ◎座長のまとめ

<p>会議事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第7回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ事務局(県教委)から説明し、質問、意見なし。 (2) 長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画(案)について <ul style="list-style-type: none"> ア 学びのイメージ(案)について <ul style="list-style-type: none"> 【質疑】 <ul style="list-style-type: none"> ・第4次長野県教育振興基本計画の中に、「社会のウェルビーイングの実現」がうたわれているが、その文言がはいついていない。 →大事な言葉であるのとらえているので、検討したい。 ◎この学びのイメージ(案)自体はウェルビーイングが意識されているので、言葉を入れるかどうか事務局で検討していただきたい。 イ 活用する校地・校舎について <ul style="list-style-type: none"> 事務局より説明 ・検討を重ねてきている学びのイメージ(案)を実現できる校地・校舎としては、長野東高校が最適であると考え、長野東高校の校地・校舎を活用することとしたい。 【質疑】 <ul style="list-style-type: none"> ・交通の不便さについて、何か考えがあるか。 →長野東高校を活用することで承認された場合、関係機関に働きかけをしたい。 ・学校名を書いて条件的に併記するのか、今言われたようなことをこの段階で書くのか。 →再編実施基本計画には書きたい。 ウ 統合時の課題について <ul style="list-style-type: none"> 【質疑】 <ul style="list-style-type: none"> ・提案されている設置課程は何か。 →定時制の午前部・午後部・夜間部を3つ重ね、多部制単位制と呼んでいるが、定時制となる。定時制と通信制を併置した学校を提案してきた。 ・併置校の場合、全日制・定時制・通信制の混成チームは認められるのか。 →定通大会では定時制と通信制の混成が認められているが、インターハイでは併置校であっても課程別のチーム編成となり、全日制で1校、定時制で1校、通信制で1校としての出場となる。 ・学年表記について無学年制と1学年、2学年表記の整合性がとれるのか。 →インターハイ等の出場資格は入学からの年数として解釈する形が適切であると考えている。 ・設置課程について、現行法規の枠内で考えるべきか、新しい仕組みを模索するべきか。 →現状では、全国高体連に特例を要請しているが進展がなく、現行の枠組み(全日制・定時制・通信制)の中で対応を検討する必要がある。 ・新しい学校の学びのイメージ(案)は現行の枠組みで実現可能なのか。 →学校教育法の枠内で学びのイメージ(案)の実現を目指す。 ・定時制と通信制の連携に関して、複数部のまたぐ履修が必要になるのではないか。 →検討中である。単独の部のみの履修でも定時制と通信制の連携ができるようにする予定である。 ・なぜ、定時制や通信制が必要なのか。全日制単位制で対応できないのか。

→協議会からも要望があり、全日制・定時制・通信制それぞれの特性を活かし、生徒の多様なニーズに対応するフレキシブルなカリキュラムを計画中。例えば、午前中は部活動に集中し、午後に授業を受けるなど、多様な学習形態を想定している。

【意見・感想等】

○課程について

- ・法律にそって、実情に合わせた形で検討してきた内容を実現していけるように考えるべきだ。
- ・全日制という話題がでているが、全日制と定時制は修業年限が違うので、フレキシビリティを実現するためにはどうしたらよいか課題と感ずる。
- ・全日制、定時制、通信制の3課程ある学校でもよいと思う。全日制でも単位制を取り入れるとか、文科省が提案する新しい普通科など、フレキシブルな学びができるように検討を重ねていけばよいと思う。
- ・全日制という意見も一つの考え方として検討していく余地はあると思う。議論の主が、高体連の参加ではなく、なぜ、生徒たちがそれぞれの学校に通っているのかという理由を主に検討しなければ何のために定時制を一緒にするのがわからなくなってしまう。
- ・全国の例を知りたい。時代が動いているので、色々な形が生まれてきているのであれば、参考にしてフレキシブルな仕組みを考えていけるとよい。
- ・全日制という言葉がでてきて、それも面白いアイデアだと思った。世の中の動きは激しく、学校だけが変わらないわけにはいかないため、いろいろなスタイルがあっていいと思う。ただ、学びのイメージ(案)で示している内容は、全日制的システムでは難しいのではないかと思う。
- ・全日制、定時制、通信制の高校が、定時制と通信制の高校になるというところに高いハードルがあると改めて感じている。
- ・全日制も含めた多様な学びができるということが実現できれば、長野東高校に通っていた生徒も安心できる。色々な生徒が安心して集えるというのがまさにスーパーフレックス。どういう形も受け入れてくれるというのは、全日制が新校のなかに入ったほうがわかりやすい。
- ・全日制も含めて転籍ができるとなれば魅力的である。自分の選択を自分で決められることを応援してもらえるような、そんな仕組みから考えてもらいたい。

【統合方法に関する意見】

- ・統合に際して年次統合、一斉統合のどちらもメリット・デメリットがある。一斉統合はデメリットが大きいが、高体連のことだけではなく、広く検討されることが必要である。
- ・一斉統合の場合、途中で課程が変わることになるのは、生徒の意図していることではないと思う。また、年次統合の場合は全日制と定時制が統合するレアなパターンだと思うので、他県の例など情報があれば、報告してほしい。
- ・年次統合をイメージしていた。一斉統合という話が部活動との関係で出てきたことに驚いている。
- ・生徒の気持ちを考えると、全日制として入学した生徒は3年間全日制としていくべきではないか。

【その他の意見】

- ・この地域には、少子化、人口減少という大きな課題がある。若い人に選ばれる自治体という考えがあるので、この新校には特徴的な学びを期待したい。その意味では、「フレキシブルで多様な学び」という観点で意見を出し合いながら作ってきた形はよいと思う。
- ・キャリア教育の関係で、文科省はアントレプレナーシップ教育に力を入れようとしている。非認知能力にも役立つアントレプレナーシップ教育をやると学びのイメージに書いてほしい。
- ・この学校のニーズの高さを感じるが、生徒や保護者に説明するのに苦慮するような気がする。生徒や保護者が迷わないように、卒業というゴールのイメージをもっていなければならないと感じた。
- ・小学校でも不登校傾向児童が増えており、教育支援センターやフリースクールなど、多様な場所で学んでいる。社会全体が動いている中で、長野東スーパーフレックス新校も受け皿になってほしい。
- ・特別支援の立場から、生きづらさを抱えた生徒たちにどのように説明したら「この学校に行きたい」と思ってもらえるか考えている。「自分の夢が見つかりそうだ」「この授業が好きだなあ」など喜びにつながる学校になるといい。
- ・「フレキシブルで多様な学び」の中でのキャリアデザイン、ここが新しい学校の構想として一番大事になってくるのではないかと感じている。他県の先進的な事例にも目を向けていきたい。
- ・現段階での情報を保護者と子供たちにこういう形で新しい高校はやっていくという情報提供をしてほしい。
- ・不登校の子どもたちは多様性に富んでいる。早くそのような子どもたちを受け入れることができるように、開校してほしい。そのために、もっと、スピーディな話し合いをしてほしい。
- ・少子化の時代に高体連の規則はおかしいと思うので、強く働きかけてほしい。
- ・部活動に視点があたったことを大変嬉しく感じる。

◎文科省の規定が柔軟化しているなかで、新校のシステムについても学校教育法第53条の枠内でフレキシブルな運用が可能と考える。当初から、多部制単位制で、定時制、通信制という形でスタートしてきているが、「フレキシブルで多様な学び」というスタイルは崩さず実現するために、全日制も含めた議論を情報収集しながらしていく必要がある。学びのイメージ(案)を実現させることを前提にしながらも課程については、今後も検討していく。また、全国の事例等も紹介してほしいという意見が出されているので、事務局で検討して次回、説明してほしい。

その他

【次回】

日時：令和7年1月21日(火)18時から19時30分

会場：長野県庁西庁舎111号会議室

内容：長野東スーパーフレックス新校再編実施基本計画について

長野東スーパーフレックス新校（仮称）再編実施基本計画（案）

1 再編統合対象校

長野東高等学校、長野吉田高等学校戸隠分校、長野高等学校（定時制）
長野商業高等学校（定時制）、長野西高等学校（通信制）

2 募集開始（開校）年度

令和_____年度

3 活用する校地・校舎

長野東高等学校

第8回懇話会です承
(通学における交通機関等への働きかけ等については、継続して検討)

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

<p>設置課程： _____</p> <p>学科： _____</p> <p>募集学級数： _____</p>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">第9回懇話会で検討</div>
---	--

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

5 学びのイメージ

別紙のとおり

第8回懇話会です承
今後もブラッシュアップを重ね、懇話会にて報告

6 施設整備

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

- ・施設整備に要する期間 _____年程度を想定

自分らしく学び、「なりたい自分」へ

～夢を探し、追いかけて、かなえる「スーパーフレックス新校」～

目指す学校像

- 一人ひとりにあった学習スタイルと共に高め合う活動を通じ、学びに向かう力を育む学校
- 柔軟に学べる仕組みを活かし、自己理解を深め、学校内外でやりたいことを探し、追求できる学校
- 地域資源を活かした産学官連携のもと社会とのつながりを深め、自らの選択で行動できる力を伸ばす学校

育成したい生徒像

- 夢や目標に向かって主体的、意欲的に学び、挑戦していく生徒
- 多様な生き方を尊重し、豊かな人間関係を構築していく生徒
- 社会の一員としての責任を果たし、自分らしい未来を考え行動していく生徒

フレキシブルで多様な学び

◆学びを創る 探究学習

課題を見出し解決に向けて考察する。

▶ 探究をカリキュラムの中心に据えた「学び合う」学び
～対話のある活動を取り入れた授業～

▶ 地域共学共創コンソーシアムと連携した様々な講座の開設
～豊かな自然環境や人財を活かした実践的・探究的な授業～

▶ 学校設定教科「キャリアデザイン（仮称）」を入学年次に全員が受講
～人に出会い、自分らしい未来のために必要な学問（学び）を見つけるための授業～

柔軟な学びの仕組みを活かした多彩な単位認定

◆学びを深める 高大等連携プログラム

上級学校や研究機関の知見に触れる。

▶ 大学や専門学校等で受けた授業を卒業単位として認定

▶ 様々な研究機関や団体等と連携した校内外での探究的活動を卒業単位として認定

◆学びを広げる キャリア教育

社会人・職業人としての自立に向けて、地域や産業界と協働する。

地域をフィールドにした実践的な授業の設定

- ・ボランティア活動
- ・長期インターンシップ
- ・アカデミックインターンシップ研修（大学等の研究や授業体験）
- ・デュアルシステム（学校での授業と企業での就業体験を並行して行う職業教育）
- ・**アントレプレナーシップ教育プログラム（起業家的行動能力の育成）**

▶ 留学、部活動、サークル活動等の自主的な活動を地域と連携し、学校全体で支援

フレキシブルで多様な学びを支えるシステム

学校生活全般に関わるシステム

- 無学年制
- 2学期制（前期・後期）
- 学期ごとに単位認定
- 9月卒業・10月入学も可能

- 併修可能
- 転籍可能

職員+地域人財を活用したアドバイザーによる支援

- 自主的活動や進路をサポート
 - ・進学、就職
 - ・探究活動
 - ・部活動、サークル活動
 - ・ボランティア活動
- 留学
- など

- メンタルサポート
- ・スクールカウンラーの配置
- ・大学や福祉機関・医療機関と連携

地域共学共創コンソーシアム



大学・専門学校
幼保小中高



医療・福祉機関



地域企業・産業



地域



自治体

多部制・通信制・単位制高校および全日制・定時制・通信制3課程設置校等に関する資料
(長野県教育委員会事務局高校教育課高校再編推進室 調べ)

【目次】

1. 長野県の多部制・単位制高校について
2. 東京都立の多部制・単位制高校について
3. 全国の事例：定時制（3部制）・通信制併置校の先進的・特徴的な学校について
4. ：3課程（全日制・定時制・通信制）併置校について①②
5. ：再編統合による3課程（全日制・定時制・通信制）併置校について
6. ：開校予定の多様なニーズに対応した新たなタイプの高校について
7. 3課程（全日制・定時制・通信制）併置校等のまとめ

その他補足資料：第1回懇話会資料より 長野東スーパーフレックス新校について

1. 長野県の多部制単位制高校について

主な学習時間帯

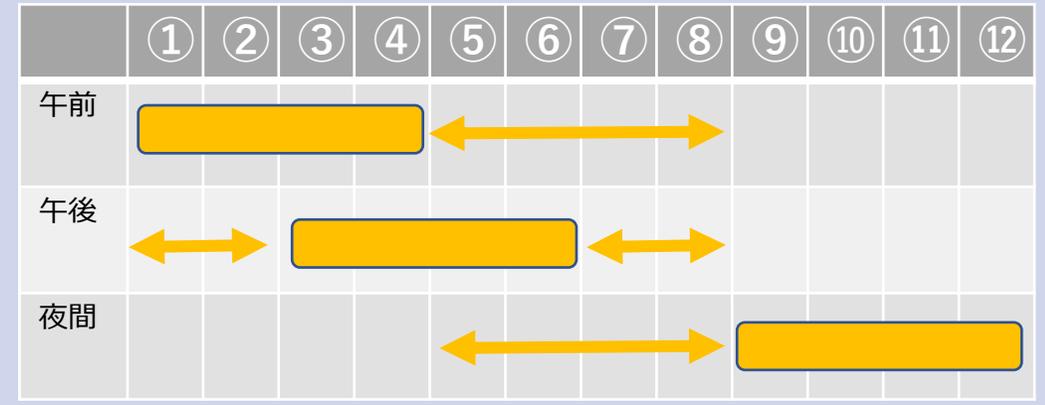
所属以外の履修可能時間

システム

日課・履修可能時間

松本筑摩

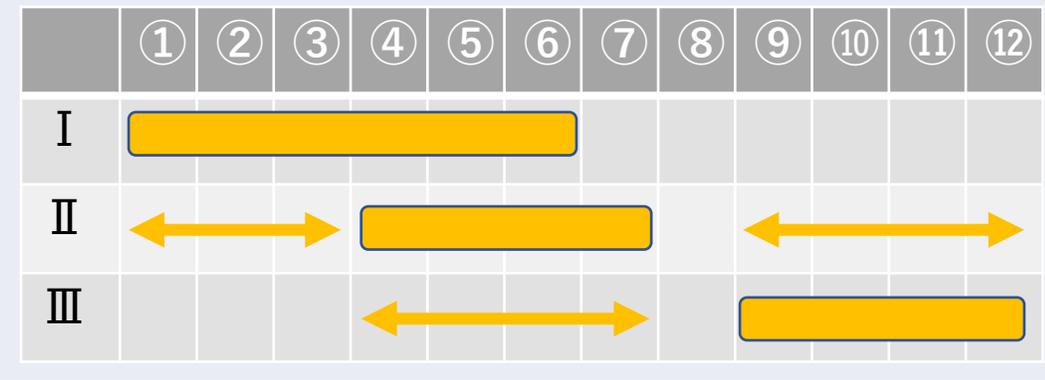
	1年	2年	3年	4年	備考
午前部	全員 4時間×5日	<ul style="list-style-type: none"> 1年次に、3修か4修を選択する。 3修生は1、2年の後、卒業年次の4年となる。 必履修科目は所属する部で履修 午前部・午後部は夜間部の授業は履修できない。 夜間部は5～8時限の授業を履修可能 			年度により違いはあるが、1/3～1/2弱が3修
午後部					
夜間部					ほぼ全員4修



通信制課程あり

箕輪進修

	1年	2年	3年	4年	備考
I部	全員が3修			4年	普通科 工業科
II部	4時間×5日 (II部は、1年次より3修・4修を選択し履修開始)	<ul style="list-style-type: none"> III部は、2年次より3修・4修を選択し履修 必履修科目は所属する部で履修 II部は必要に応じてI・III部の授業を履修可能 III部は必要に応じてII部の授業を履修可能 			3修が多い傾向あり
III部					ほぼ全員4修(過去には3修あり)



東御清翔

	1年	2年	3年	4年	備考
午前部	全員が3修			4年	
午後部	全員5時間×5日	<ul style="list-style-type: none"> 2年次以降、3修か4修を選択し履修 必履修科目は所属する部で履修 			3修が90%
夜間部	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備【三次】夜間部設置を検討中 午後部の授業を履修可能として3修可能とする予定 				上田高校定時を統合



2. 東京都立の多部制・単位制高校について

	チャレンジスクール	昼夜間定時制高校
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 主に小・中学校での不登校の経験や高校での中途退学の経験により、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジする学校 	<ul style="list-style-type: none"> I部（午前部）・II部（午後部）・III部（夜間部）の中から自分の所属する部を選び、1日4時限ずつ4年間かけて学ぶことが基本 他の部と合わせて1日6時限の授業を受けられるため、3年で卒業することも可能
課程 学科等	昼夜間の定時制（3部制）・単位制・総合学科	定時制・単位制・普通科 *新宿山吹は普通科と情報科 4部制
特色	<ul style="list-style-type: none"> 自分のライフスタイルに合わせて各時間帯（午前部・午後部・夜間部）を選択 学力検査や中学校からの調査書によらず、学習や学校生活の意欲を重視した入試 基礎・基本を重視した学習を行うとともに総合学科の特性を生かし、職業系を含む様々な専門科目の学習も可能 カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮した決め細かい指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査あり 基礎・基本を重視した授業 1学級30人規模で習熟度別授業、少人数授業などきめ細やかな授業の実施 デザイン、ビジネス、ファッション等の特色ある科目を選択可能 <div style="border: 1px solid black; background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考】 ○夜間定時制 41校（全日制併置校含む） 普通科24校／農業科5校／工業科10校 商業科4校／産業科1校／総合学科2校</p> </div>
高校名および R 6 学検倍率	六本木 1.22 大江戸 1.54 世田谷泉 1.51 穂ヶ丘 1.53 桐ヶ丘 1.08 小台橋 1.08 *立川緑 R 7. 4月開校	新宿山吹 普2.21 情報推3.11 一般2.20 砂川 1.22 浅草 0.86 荻窪 0.65 八王子拓真 1.22 一橋 0.85 *一橋・新宿山吹・砂川は通信制併置 都立の通信制高校は3校のみ

3. 全国の事例：定時制（3部制）・通信制併置の先進的・特徴的な学校について

校名	青森県立尾上総合高校	山口県立松風館高校	福岡県立博多青松高校																																																																																																				
学科	定時：総合学科 通信：普通科	定時：普通科 通信：普通科	定時：普通科・情報科学科 通信：普通科																																																																																																				
開校年	1999年（平成11年）全日制課程総合学科 昼間定時制課程普通科 ⇒平成25年～定時制3部制総合学科+通信制 （近隣の夜間定時制2校を閉課程とした）	2022年(令和4年) * 定時制（6校）と通信制（1校）を統合	1997年（平成9年） * 定時制3校の統合																																																																																																				
定時制	・3部／Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部 ・基本的には4修制	3部／午前部・午後部・夜間部 ・他部を併修して3修制可能 ・基本的に、自分の所属する部の授業は全て受ける。 ・3修制の生徒は他部の生徒と一緒に受講する。	3部／Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部 ・他部を併修して3修制可能 ・自分の所属する部で50%以上受講する。																																																																																																				
募集定員	定時制：Ⅰ・Ⅱ部80名／Ⅲ部40名 通信制：150名	定時制：各部40名 通信制：400名	定時制【普通科】Ⅰ部120名／Ⅱ部80名／Ⅲ部80名 【情報科学科】Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部各40名 通信制：600名																																																																																																				
転部・転籍	×	×	×																																																																																																				
日課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時限</th> <th>Ⅰ部</th> <th>Ⅱ部</th> <th>Ⅲ部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>↑</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>↓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>↑</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>↓</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td>↑</td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td>↓</td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	時限	Ⅰ部	Ⅱ部	Ⅲ部	1	↑			2	↓			3		↑		4		↓		5				6				7			↑	8			↓	9				10				<table border="1"> <thead> <tr> <th>時限</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1▶2</td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3▶4</td><td>■</td><td>*</td><td></td></tr> <tr><td>5▶6</td><td>*</td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>7▶8</td><td></td><td>■</td><td>*</td></tr> <tr><td>9▶10</td><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>11▶12</td><td></td><td></td><td>■</td></tr> </tbody> </table> <p>*の授業を受ける事で3年間で卒業可能となる。</p>	時限	午前	午後	夜間	1▶2	■			3▶4	■	*		5▶6	*	■		7▶8		■	*	9▶10			■	11▶12			■	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時限</th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1▶2</td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3▶4</td><td>■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5▶6</td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>7▶8</td><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td>9▶10</td><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>11▶12</td><td></td><td></td><td>■</td></tr> </tbody> </table> <p>・他部の授業を受講することで3年間で卒業可能となる。</p>	時限	午前	午後	夜間	1▶2	■			3▶4	■			5▶6		■		7▶8		■		9▶10			■	11▶12			■
時限	Ⅰ部	Ⅱ部	Ⅲ部																																																																																																				
1	↑																																																																																																						
2	↓																																																																																																						
3		↑																																																																																																					
4		↓																																																																																																					
5																																																																																																							
6																																																																																																							
7			↑																																																																																																				
8			↓																																																																																																				
9																																																																																																							
10																																																																																																							
時限	午前	午後	夜間																																																																																																				
1▶2	■																																																																																																						
3▶4	■	*																																																																																																					
5▶6	*	■																																																																																																					
7▶8		■	*																																																																																																				
9▶10			■																																																																																																				
11▶12			■																																																																																																				
時限	午前	午後	夜間																																																																																																				
1▶2	■																																																																																																						
3▶4	■																																																																																																						
5▶6		■																																																																																																					
7▶8		■																																																																																																					
9▶10			■																																																																																																				
11▶12			■																																																																																																				
授業時間	45分	90分	90分																																																																																																				
定通連携等	・Ⅲ部のみ連携あり	なし	・定時制⇒通信制 あり ・通信制⇒定時制 なし																																																																																																				

4-① 全国の事例：3課程（全日制・定時制・通信制）併置校について

	県	校名	定時制	通信制 スクリーング等	統 合	3課程併置となった経過 統合内容・開校状況等	備考
1	岩手	宮古	夜間	日	◎	平成30年4月高校再編に伴い 通信制課程設置	
2	山形	庄内総合	昼間 3～8時限に 授業を設定	日・木	◎	R 4 統合により3課程設置 (詳細は次々スライドをご覧ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・全日制：総合学科 ・定時制：総合学科 ・通信制：普通科
3	神奈川	厚木清南	昼夜間	日 火（個別指導） 夜間スクーリングあり		3課程一体・単位制普通科高 校 全国初のフレキシブルハ イスクール（HPより）とし て設置	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県教育委員会事業 多様な学習を支援する高等学 校の支援事業 (2015年度～2017年度)
4	岐阜	飛騨高山	夜間	日	◎	平成17年 高山高校（全日・定時）と 斐太農林高校（全日）を統合 斐太高校（通信）を移管	2キャンパス <ul style="list-style-type: none"> ・全日制:普通科・商業科・生 活産業科・農業科 ・定時制:普通科 ・通信制:普通科
5	島根	浜田	昼間・夜間	日 火午後（定・通 併修授業）		平成24年 <ul style="list-style-type: none"> ・定時制夜間部のみ →定時制2部制（昼・夜）を 設置し、同時に通信制設置 <ul style="list-style-type: none"> ・定時制と通信制の校舎を新 築し併用 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により定時制3部制・通 信制を併置した宍道高校あり

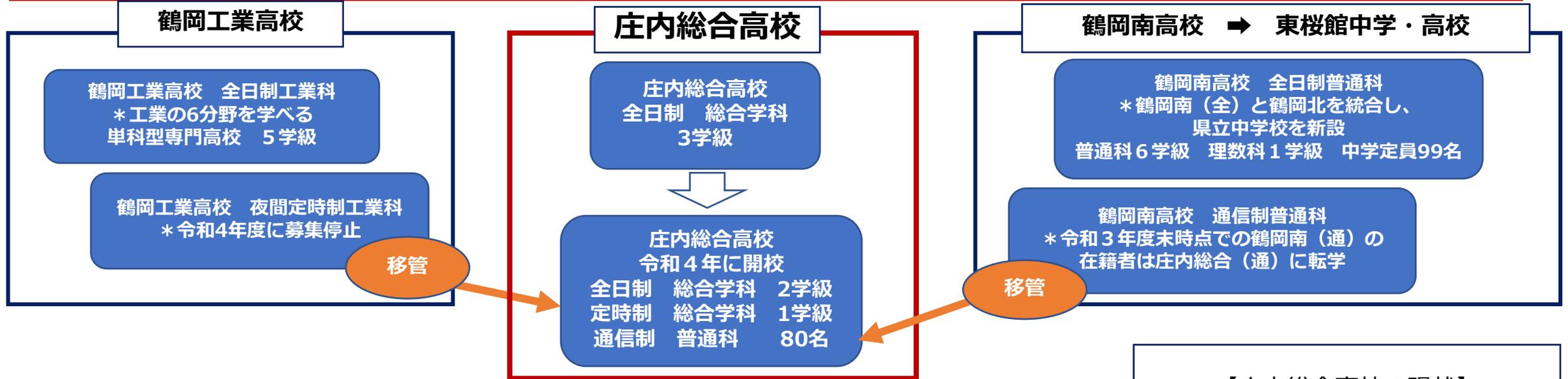
4-② 全国の事例：3課程（全日制・定時制・通信制）併置校について

	県	校名	定時制	通信制 スクリーング等	統 合	3課程併置となった経過 統合内容・開校状況等	特記事項
6	高知	大方	夜間	日・水（補充日）	◎	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年 定時制2部制から昼間部を全日制、夜間部を定時制改編し通信制を併置 	<ul style="list-style-type: none"> 黒潮町唯一の高校、町からの支援あり 女子サッカー部セレッソ大阪と連携
7	香川	高松	夜間4修制のみ	日		<ul style="list-style-type: none"> 昭和24年から3課程あり 	
8	香川	丸亀	夜間	日		<ul style="list-style-type: none"> 昭和24年から3課程あり 	
9	熊本	湧心館	夜間	日・水	◎	<ul style="list-style-type: none"> 昭和54年 熊本市内の定時制3校と通信制1校を統合して定通独立校として開校 平成4年 昼間定時制を新たに設置 平成8年昼間定時制を全日制に転換し3課程併置 	<ul style="list-style-type: none"> 全日：普通科・情報処理科 定時：普通科・情報科学科 通信：普通科 県内で唯一の私服通学
10	鹿児島	開陽	昼夜間 13:00～20:50	日・月 定員定めず		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年 県初の定時制・通信制を持つ単位制高校として開校 平成15年 校舎を移転して全日制を併置 	<ul style="list-style-type: none"> 90分授業×6校時 全日：1～4校時 定時：3～6校時 県内唯一の単位制高校 全日制：普通科・福祉科 定時制：普通科・オフィス情報科 通信制：普通科・衛生看護科

5. 全国の事例：再編統合による3課程（全日制・定時制・通信制）併置校について

山形県立庄内総合高校 令和4年 再編統合により3課程併置した高校として開校

全日制（総合学科） → 全日制（総合学科） + 昼間定時制（総合学科） + 通信制（普通科）に再編統合



庄内総合高校 学校案内リーフレットより

◎多様な生徒がそれぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの学校です。

	1	2	3	4	5	6	7	8
全日制	← 授業 →							
定時制		← 10:20~授業 →					← 選択 →	

昼間定時制 学年別単位数

1年次 22単位
 2年次 23~27単位
 3年次 23~27単位
 4年次 22単位
 (各学年ホームルーム活動1単位含む)

○7・8時限は2年次・3年次に希望者のみが履修→3修制への対応

通信制：スクーリング（日・月）レポート提出・テスト受験

【庄内総合高校の現状】

1. 部活は課程別
2. 通信制は大学受験向けの科目を多く設定している。
3. 全日制→定・通の転籍はあるが逆は設定していない。
4. 定通併修：通信制の生徒が昼間定時制の授業を履修（1名）
5. 昼間定時制の生徒は4修制が多い。3修制希望者は1名のみ
6. 時間割編成には苦慮している。

6. 全国の事例：開校予定の多様なニーズに対応した新たなタイプの高校について

愛知県 (令和7年4月開校予定)

宮城県 (令和9年4月開校予定)

内容

(1) 設置のねらい
不登校経験者など多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい高校として、**全日制・昼間定時制・通信制の3課程を一つの学校内に置き、3課程間をフレキシブルに行き来して学べる新しいタイプの高校**を設置する。

(2) 設置校
県立佐屋高等学校 (愛西市)
県立武豊高等学校 (知多郡武豊町)
県立豊野高等学校 (豊田市)
県立御津あおば高等学校 (豊川市)

(3) 開設時期
2025年(令和7年)4月

(4) 特徴
・既存の全日制課程を、興味や関心に合わせて自由に科目を選択し、自分のペースで学ぶことができる「単位制」に改編。
・小規模の昼間定時制課程(20人)と通信制課程(40人程度)を新たに併置。
・通信制課程のスクーリングを原則平日に実施。スクーリングのない日にも登校し、教員への質問や自習が可能。
・他の課程に「転籍」し、同じ学校で学び続けることが可能。
・「併修」制度により、在籍する課程とは異なる課程の科目を履修し、単位を取得することが可能。

(1) 設置の背景と基本理念
・生徒の興味・関心、進路希望の多様化
・様々な背景を抱えた生徒の増加(学校生活や学習に困難を抱える生徒など)
《新しいタイプの学校の基本理念》
・個に応じた多様な学びと、学習者中心の支援により、生徒の自律的な学びの実現と、将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成を目指す。

(2) 新たなタイプの学校の概要
・設置場所等 宮城広瀬高等学校(仙台市)を新たなタイプの学校に転換
・開校時期(予定) 令和9年度に開校(予定)
・募集定員 200名
・設置課程等 全日制・普通科・単位制

(4) 学校の位置付け
○定時制と通信制の機能を併せ持つ、これまでにない「全日制高校」
・「定時制」の機能：多部制定時制に見られる幅広い時間帯における多様な学び方
・「通信制」の機能：通信制高校との効率的な併修が可能 *自校で開設しない科目のみ
・単位制…学年区分を問わず、生徒が自由に科目を履修
➡卒業に必要な単位数(74単位)を取得 ➡卒業

(5) 学校の特徴

I フレキシブルな学び方 (1)単位制の導入(2)幅広い授業時間帯の設定 (3)資格取得、ボランティア等を単位として認定	II 魅力ある学び (1)探究的な学び (2)ICTを活用した学び (3)地域等と連携した学び (4)多様な人材を活用した学び
III 多様な教科・科目 (1)多様な進路希望に応じた教科・科目 (2)学び直しのための教科・科目 (3)習熟度別授業の導入	IV サポート体制の充実 (1)チューター制の導入 (2)多様なスタッフ(スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、地域人材、NPO等)による支援

(6) 幅広い授業時間帯

1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時	8校時
主に選択教科・科目		コアタイム(主に必修教科・科目を設置)			主に選択教科・科目		

○1から8校時の幅広い授業時間帯を設定し、生徒自身の生活スタイル、興味関心等に応じて、主体的な授業選択が可能

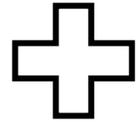
7. 3 課程（全日制・定時制・通信制）併置校等のまとめ

長野東SFH想定				A			B			C			D			E		
設置課程	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信	全日	定時	通信
		午前 午後 夜間						午後 夜間			午後 夜間			昼間			コアタイム	
	6時限																	
高校名等	松風館高校 博多青松高校			宮古高校 高松高校 丸亀高校 大方高校 湧心館高校			浜田高校			厚木清南高校 開陽高校			庄内総合高校 御津あおば高校			宮城県広瀬高校 (R9開校予定)		

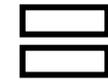
「スーパーフレックス」とは？

第1回懇話会資料より

多部制・単位制
【午前部・午後部・夜間部】

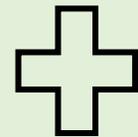


通信制



**フレックス
高校**

多部制・単位制
【午前部・午後部・夜間部】



通信制
【新たな通信制】



**スーパーフレックス
高校**

多部制・単位制、通信制の仕組みを
最大限活用することによって、
さらに多様な学習環境を提供する高校

多部制・単位制高校の特徴

第1回懇話会資料より

自分のライフスタイルに合わせて時間割を組むことができる

必要な単位分を履修し、残りの時間は**自分のやりたいこと**に自由に使える

例えば・・・☆プロ(スポーツ、音楽等)を目指して練習に励む

☆2年間で必要単位を修得し、(在籍は必要となるが)残り1年は海外留学
や予備校に通う

☆進学資金を貯めるため、空いている時間にアルバイトをする など

興味・関心や進路に応じた科目を選べる

必修科目以外は、**自由に科目を選択**できる

長野東スーパーフレックス新校（仮称）の学校像として考えられる姿

多部制

【午前部・午後部・夜間部】

時間	所属	午前部	午後部	夜間部
1限	所属	受講可能	所属	受講可能
2限				
3限				
4限				
5限	受講可能	所属	所属	受講可能
6限				
7限				
8限				
9限	所属	受講可能	所属	受講可能
10限				
11限				
12限				

所属変更可能

通信制

【新たな通信制】

添削指導



面接指導



テスト

(希望により)

週1日

～

週5日

- ・探究活動
- ・地域連携
- ・部活動等

所属自由

組合せ自由

学び方自由

単位認定

学習の個別最適化

EdTech活用

地域と協働した学び

校外活動・資格取得等

卒業単位認定

スポーツ・芸術活動等

本格的な取組み

多様な生活・学習スタイルに応じて、フレキシブル(柔軟)に『学びをマネジメント』

高等学校における課程・学科等の法規上の定義について

項目	内容	学校教育法等
1 課程	<p>高等学校には全日制、定時制、通信制の課程を置くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制：通常の時間帯において授業を行う課程 ・定時制：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程 ・通信制：通信による教育を行う課程 	<p>学校教育法第 53 条、54 条</p>
2 学科	<p>一定の教育目標を達成するために、各教科・科目を一つのまとまった教育内容を持つよう系統化を図ったもの。教育課程を編成する上で、また生徒が履修する上でのまとまりになるもの。高等学校の学科は大きく次の 3 つに区分される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通科：普通教育を主とする学科 ・専門学科：専門教育を主とする学科 * 農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、情報科、福祉科、理数科、体育科、音楽科、美術科、外国語科、国際関係科、その他専門教育を施す学科 ・総合学科：普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科 	<p>学校教育法 52 条、高等学校設置基準第 5 条及び第 6 条</p>
3 修業 年限	<ul style="list-style-type: none"> ・全日制の課程：3 年 ・定時制の課程及び通信制の課程：3 年以上 	<p>学校教育法 56 条</p>
4 卒業 に必要な 単位数・ 教育課程	<p>①全学科共通：74 単位以上で各学校が定める（1 単位時間を 50 分とし、35 単位時間の 1 単位として計算することを標準とする）</p> <p>②専門学科のみ：専門教科・科目から 25 単位以上</p>	<p>学校教育法施行規則第 84 条及び第 96 条、高等学校学習指導要領</p>